
三沢の栄光のロード(終結編)

トリシューラ ∞

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

三沢の栄光のロード（終結編）

【Nコード】

N3950X

【作者名】

トリシューラ[∞]

【あらすじ】

三沢大地といえば、空気という異名で知られている男の事だがこの作品での彼は、そんな三沢大地とはまるで違うそう、彼は英雄となる・・・

パソコンを変えたのでユーザーも変わっています
その辺よろしく願います

旅人の正体！究極のドラゴン（前書き）

どうもトリシューラ∞です

いきなりですが・・

前作と同じ事をしでかしてしまいました

2度に渡るユーザー変更・・

今まで応援して下さいだった皆さんには本当に申し訳ありません

私自身成長していかなくてはいけないと実感しました

この三沢の栄光のロード（終結編）は、三沢大地が成長していく物語です

私自身も三沢のように（？）成長していきたいと思しますので、これからも応援願います。

ちなみに、前作はコチラ←

<http://ncode.syosetu.com/n7149v/>

旅人の正体！究極のドラゴン

「マリク・イシュタールか・・・」

「奴はこの村を支配してる、村長って言えるレベルじゃない」

「・・・行くか」

「えっ」

「マリクの所へ行くぞ・・・」

「あっ、ああ・・・」

「うわあああ！」

マリク部下 ライフ0

コッコッコッ・・・

「来たか、真のデュエリスト・・・」

「・・・マリク、デュエルだ」

「その前に名を聞こうか」

「・・・俺はヘルカイザー亮」

「ヘルカイザー・・・覚えておこう」

「気をつける、アイツは半端なく強い！」

「分かっている、さあいくぞ！」

デュエル！ ヘルカイザー亮vsマリク

「先攻は貰おう、俺のターン！」

ヘルカイザー亮 手札6 ライフ4000

「俺はプロト・サイバー・ドラゴンを召喚！」

攻撃力 1100

「さらに魔法カード、融合を発動！」

「融合か・・・面白い、それぐらいじゃないとなあ・・・」

「フィールドのプロト・サイバー・ドラゴンと手札のサイバー・ドラゴンを融合！」

「・・・」

「現れよ、サイバー・ツイン・ドラゴン！」

攻撃力 2800

「カードを1枚伏せ、ターンエンド！」

「俺のターン・・・！」

マリク 手札6 ライフ4000

「俺は永続魔法、生還の宝札を発動するぜ」

「生還の宝札！？あれは禁止カードのはず・・・」

「俺の闇の力を持つてすれば、禁止カードを使うなど造作もない」

「テメエ、卑怯だぞ！」

「レン、俺は別にいい・・・寧ろこの方が楽しめる」

「（デュエルを楽しんでる・・・）」

「俺はおろかな埋葬を発動して、デッキから最強の神・・・ラーの翼神龍を墓地に送る！」

「ラーの翼神龍！？デュエルモンスターズ史上最強と言われる神のカードか！」

「さらに魔法発動、死者蘇生！」

「まさか・・・ラーを！」

「蘇れ！ラーの翼神龍！」

攻撃力？

「攻撃力が無いだと・・・？」

「生還の宝札の効果で、カードを1枚ドロースる！」

「神のカード・・・どんな効果を持っているんだ？」

「ラーの効果を発動する」

「・・・」

「ラーの攻撃力は、指定した相手のモンスターの攻撃力の倍となる
！」

「何っ！」

「俺はサイバー・ツイン・ドラゴンを選択するぜえ」

「攻撃力・・・5600だと!？」

「ラーの翼神龍の攻撃！」

「来るぞ、カイザー！」

「ゴッド・ブレイズ・キャノン！」

「ぐおっ！」

ヘルカイザー 亮 ライフ4000 ↓ 1200

「ターンエンド！」

「くっ・・・」

「ラーは効果の対象にならず、効果でも破壊されない・・・まさに無敵の神だ！」

「カイザー・・・」

「レン・・・俺は、負けない」

「だよな、アンタなら勝てるって信じてるぜ！」

「フッ・・・俺のターン！」

ヘルカイザー 亮 手札4 ライフ1200

「俺は魔法カード、サイバー・オーバー・フュージョンを発動！」

「サイバー・オーバー・フュージョン！？」

「このカードの発動時、デッキから融合召喚を行う魔法カードをゲームから除外する」

「何故だ・・・」

「このカードの効果は、除外した魔法カードと同じになる！俺は、パワー・ボンドを選択！」

「パワー・ボンドだと・・・？」

「パワー・ボンド、最強の融合カードだぜ！」

「俺は手札のサイバー・ドラゴン・ドライと、サイバー・ドラゴンを融合召喚！」

このカードは手札に存在する限り、カード名を「サイバー・ドラゴン」として扱う

「現れろ、サイバー・エンド・ドラゴン！」

攻撃力 4000

「すげえぜ！」

次回予告

「俺が空気から抜け出すためには、何かが足りない・・・」

次回 「足りないもの」

サイクリング・デュエル アクセラレーション！

旅人の正体！究極のドラゴン（後書き）

読んでいただきありがとうございます！
これからよろしく願いします。

足りないもの（前書き）

遂に三沢の過去が、明かされる・・・？
この物語はフィクションです。

足りないもの

「すげえぜ!」

「馬鹿なあつ!」

「パワー・ボンドの効果により、サイバー・エンドの攻撃力は倍となる」

「くっ・・・」

「さらにサイバー・オーバー・フュージョンで、融合召喚したモンスター」の2回攻撃を可能とする」

「くそおっ!」

「お前の負けだ・・・マリク!」

「お、俺はここで消える訳には・・・!」

「サイバー・エンド・ドラゴン!エターナル・エヴォリューション・バーストオ!」

「ぐわあっ!」

マリク ライフ4000↓0

「カイザーの勝ちだぜ!」

それからしばらくして・・

「ありがとうございます！貴方はこの村の英雄です！」

「礼はいい・・それよりも俺は再び、旅に出なくてはならない」

「カイザー・・」

「お前には期待しているぞ、レン」

「ああ、俺はこの村一の情報屋で、カイザーの1番弟子だぜ！」

「フツ・・達者でな」

彼は再びゲームを進める・・

同時刻、とある場所では

「ほう・・丸藤亮がマリクの残影を・・」

「次は誰が誰を倒すと思いますか？」

「・・・分かる訳がないだろう」

その頃、三沢達は

「腹減った・・・」

「我慢しなさい、三沢君」

「しかし・・・」

「そうっすよ、三沢君」

「少しは我慢するドン！」

「でも・・・！」

「諦めるな、三沢」

「遊星まで・・・」

その時だった

「ゲームノシンコウジョウキョウヲツタエル」

「何だ！？」

「マルフジリヨウが、ヒトリメノシカクヲオシタ」

「1人目の刺客を!？」

「さすがはカイザー・・・」

「サテ、ツギハダレガシカクヲオスノカ・・・ミモノダナ」

ブツン

「消えた・・・」

「それにしても、今の声・・・なんだか聞き覚えがあるような・・・」

「それよりも、飯だドン!」

「結局かよ!」

そして、遊星の作った料理を食べ始めた

「旨いドン!」

「おいしいわ」

「遊星君って、料理うまいんだね!」

「そうか・・・？」

「こんな所でも料理を作れるとは・・・すごいな遊星」

「そうか・・・？」

「謙遜するなよ、な？」

「・・・ありがとう」

「・・・」

食べている内、三沢は過去を思い出す

「母さん・・・」

回想に入ります

「おかわり！」

「よく食べるわねえ」

「だって美味しいんだもん！」

「うふふ・・・嬉しいわ、大地」

だが、彼は知らなかった・・・自分の母親が目の前からいなくなるとは

「ただいまー！」

三沢が8才の時の事だった

「おかえり・・・」

「どうしたの、母さん何だか元気ないよ」

「うん・・・」

「母さん・・・」

その日は何も無かった・・・だが、次の日の朝・・・

「おはよう・・・あれ？」

いつもなら起きて、朝食の準備をしている母親が、いない

「どこ行ったのかなあ・・・」

それから何日も過ぎたが、母は戻らない

「まさか・・・」

実は、隠れてただけである

「ごめんね・・・面白そうで」

それからというもの、三沢は周りの人を空気と捉え始めた

「皆、空気なんだ・・・」

そして、彼自身の方が空気になってしまった

「思い出しただけで・・・ブルルル」

「どうした、三沢？」

「いや、何でもないさ」

「そうか」

彼は空気男になったため、その原因の母が作る物に恐怖を感じていたのだ

「・・・思い出したくない」

すると

「いたのか、三沢大地」

「

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3950x/>

三沢の栄光のロード(終結編)

2011年11月14日16時22分発行